

## 議事録

R7.4.26 記 測

### 令和7年度一般社団法人神奈川県剣道連盟第1回理事会

日時：令和7年4月10日（木） 18時00分 ～ 19時45分

場所：かながわ県民センター 2階 ホール

出席 本部理事 22名 支部理事 33名 監事 2名 委任状 4名  
(以下敬称略)

定款38条より定足数を満たし成立した

資料

レジュメ

資料1 令和6年度神奈川県剣道連盟事業報告について

資料2 第1回医療・安全委員会について

資料3 第1回普及・指導委員会について

資料4 第23回全日本選抜剣道八段優勝大会について

資料5 第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会について

資料6 第42回剣道八段受審者研修会について

資料7 令和6年度会員数および1級登録人数等明細表について

資料8 剣道講習会参加状況について

資料9 令和7・8年度指定審査員・審判員について

資料10 個人会員年会費に関する規則について

資料11 表彰および慶弔に関する規則について

資料12 世界大会応援クラブの団体会員加入について

議長 野見山 延 (議事進行：伊藤 龍紀)

議事録署名人 旭区支部 廣瀬 貴之 小田原支部 繁田 雄治

神奈川県道場連盟会長変更のお知らせ

滝澤 建治 会長 → 高野 力 会長

1. 一開会ー 18:00

議事録承認報告

前回理事会議事録署名人、栄区福間先生・茅ヶ崎支部内山先生より承認された。

2. 会長挨拶 (野見山)

① 議決権の所在

議決権を持つのは「支部理事」のみ。

会長、副会長、常任理事など本部理事には議決権がない。

支部理事の決定が最優先であり、会長もそれに従う立場。

## ② 理事構成の見直し

以前は本部理事が多かったが、支部理事の比率を上げる形で正常化。

本部理事の数は意図的に減らされている。

## ③ 法人制度上の呼称と役職名

理事会を有する法人では「会長」ではなく「理事長（代表理事）」が正式名称。但し、通称として会長を使用する事が多いと思う。全剣連も同じ。

支部の代表についても「支部代表理事」ではなく「支部理事」として表現を統一。

印鑑や書類上もすべて法人法に則り「理事長」表記を使用。

## ④ 一般社団法人を選んだ理由

公益法人を目指すには事前の経営審査が非常に厳しいため、一度一般社団法人として法人化。

一般社団法人後の実績により、後から公益法人化も視野に入れる。

現在の制度では過去の財務ではなく法人化後の財務が審査対象となる。

## ⑤ 法人としての責任の重さ

金銭問題やパワハラなど重大な問題が起きた場合、法人格を失う可能性もある。

そうなると、全日本剣道連盟の傘下団体でいられなくなる恐れも。

したがって、理事の皆さんには監督責任と問題提起の義務がある。

## ⑥ 内部通報制度の整備

倫理委員会や幹事など、訴えを受け付ける仕組みが存在。

実名での通報が前提だが、秘密は厳守される。

## ⑦ 執行部の紹介

執行部の紹介

会長 野見山 延

副会長 佐藤正二 吉村哲夫 小山則夫 松原治 飛知和利文 上野正明 高野力

専務理事 伊藤龍紀

常任理事 田島東海男（審査） 大久保和彦（大会） 石原和彦（普及・指導）

有馬裕史（強化） 岡見浩明（審判） 森俊樹（医療・安全）

久保正男（居合） 大竹俊行（杖道）

理事 安藤守（普及・指導） 川村振二（大会） 小笠原正記（審査）

中田圭介（普及・指導） 加藤公一（強化） 笹木春光（審判）

中島一憲（総務）

監事 滝澤建治 吉野和世

### 3. 議題

#### 【報告・確認事項】

- (1) 令和 7・8 年度法人幹部、委員会、部会の運営基本方針について（野見山会長）

##### 基本方針と心構え

① 私心あらざるや

「私心あらざるやなきや」という言葉にあるように、個人的な都合や利害で判断せず、公正な立場で行動することが重要。

② 信義に悖ることなかりしか

何事も、「正しい道から外れていないか？」ということを常に自問自答し、判断を誤らないように気を付ける。

③ 剣道はみんなで仲良く、明るく、楽しく、稽古は厳しく、礼儀正しく頑張ろう

\*\*「明るく、楽しく、仲良く」\*\*の精神で、稽古は厳しく、礼儀正しく行うこと  
稽古を通じて技術だけでなく、心の成長も目指す。

##### 礼儀について

- ・道場への出入りや、仲間同士の礼儀が最近おろそかになっている点が気になる。
- ・執行部の方々には、特に礼儀をしっかり守ることを再確認してもらいたい。
- ・「他の人に言う前に、私たち自身がしっかりやるべき」という立場で、率先して行動すること。
- ・互いの挨拶や気遣いも重要。
- ・喧嘩しているわけではなく、剣道をする仲間として集まっているので、気持ちよく挨拶し、正しいことをしっかりとと言えるようにする。

- (2) 令和 6 年度神奈川県剣道連盟事業報告について 資料 1 参照 （中島事務局長）

資料記載通り 疑問点等があれば事務局へ

- (3) 第 1 回医療・安全委員会について 資料 2 参照 （森医療・安全委員長）

医療安全委員会 事業計画（令和 7 年度）

① 上半期の医療班派遣計画

4 月時点で、上半期の医療班の派遣割り振りが決定。

② 各月の重点活動

6 月: 熱中症対策 理事会での注意喚起後、支部へ広報をお願いする予定。

8 月: 脳震盪と頸部損傷の対策 横浜市大脳神経外科准教授坂田先生に講義依頼予定。

9 月: 心肺停止対策 称号審査会后、会員を対象に心肺蘇生（胸骨圧迫）を実際に体験してもらう予定。（実際に人形を使って胸骨圧迫の練習を行い、救命救急医の指導

を受ける。)

10月: 感染症対策 インフルエンザやコロナウイルスの流行に備え、感染症対策を強化。ワクチン接種についても注意喚起を行う予定。

12月: 装備安全対策 こちらは未定であり、変更の可能性あり。

2月: 心肺停止対策の再実施

### ③ 今後の対応について

#### 昇段審査時の特別配慮

受審者の中に身体的な理由で配慮が必要な場合があり、特に疾患による障害を持つ受審者に対して適切な対応を取ることが求められる。

例: 頭部に打撃を加えることで命に関わるリスクがある方(過去の事例を踏まえて)。

このような方々に対しては、事前に情報を提供していただくと、医療安全委員会での対応を事前に準備できるため、協力をお願いしたい。

### (4) 第1回普及・指導委員会について 資料3参照 (石原普及・指導委員長)

#### ① 講習会

伝達講習会から始まり6月には、八段受審者講習が始まる。

前年度の内容を踏襲しつつ、意見を聞きながらより良い講習会・稽古会にしたいと考えている

#### ② 稽古会

指導稽古(40分以上)・八段稽古の取り入れなど、実施したい内容が検討中。

#### ③ 女子の稽古会日程の訂正

立合い稽古日程の変更:

以前: 4月、10月、2月 → 新しい日程: 5月、11月、2月に変更。

#### ④ 講習会の進行

講師の決定と依頼を行い、事務局との協力のもと、前年度の内容を踏襲して実施する。

以下の講習内容を実施予定:

審判講習会・剣道形講習会・八段受審者研修会・六段、七段受審者講習会・三段以下剣道形講習会・称号受審者講習会(座学)

#### ⑤ 受講者へのサポート

受講者には合格を目指してしっかりと協力し、講習会に臨んでもらいたい。

受講者がいる限り、協力を惜しまない。

#### ⑥ 女子部会の設立

女子部会がまだ正式に設立されていないため、これから進めていく必要がある。

伝達講習会時、女子部会についてふれる予定。

- (5) 県スポーツ協会評議員会について（中島事務局長）  
開催日：令和7年3月29日（土）15:00～会場：県立スポーツ会館  
出席者：大久保 和彦（県剣道連盟評議員）  
令和7年度事業計画書および収支予算書の報告  
事業計画書と収支予算書は特に問題なく、全て滞りなく進行。
- (6) 第23回全日本選抜剣道八段優勝大会について 資料4参照（中島事務局長）  
開催日：令和7年4月20日（日）  
会場：名古屋市中村スポーツセンター  
神奈川県より、今里 学・宮崎 史裕氏が出場。
- (7) 法人設立記念式典について（伊藤専務理事）  
開催日：令和7年4月22日（火）18:00～  
会場：県民共済プラザ 桜木町徒歩5分（ネット等で確認してください）  
全日本剣道連盟より網代会長、福本相談役、中谷専務理事が臨席予定。  
式典・懇親会の2部構成となっており、時間は18時～21時を予定。
- (8) 第73回全日本都道府県対抗剣道優勝大会について 資料5参照（中島事務局長）  
開催日：令和7年4月29日（火・祝）  
会場：和歌山ビッグホエール  
今年は万博の影響で、多くの種目で大阪での開催が難しくなったため、剣道の大会は和歌山に変更された。  
去年は、ベスト8に入賞。  
今年は、優勝を目指してさらに頑張っていたideきたく思う。
- (9) 第17回県女子剣道大会について(同)  
開催日：令和7年5月10日（土）  
受付：9時 開会：9時30分 会場：神奈川県立武道館  
申込締切日：令和7年4月11日（金）  
\*表彰数変更予定
- (10) 第17回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選会について(同)  
開催日：令和7年5月10日（土）  
受付：12時20分 開会：13時 会場：神奈川県立武道館  
申込締切日：令和7年4月11日（金）
- (11) 第79回国民スポーツ大会剣道競技県予選会について（有馬強化委員長）  
開催日：令和7年5月24日（土）

受付：9時 開会：10時 会場：神奈川県立武道館

申込締切日：令和7年4月25日（金）

昨年度から大会名称が変更された。

以前：国民体育大会（通称：国体） 現在：国民スポーツ大会（通称：国スポ）

予選会の優勝者が本大会への出場権を得ることができる（成年女子は関東ブロック予選あり）

総監督・代表選手選定

総監督：宮崎 正裕

成年男子大将：織口 剛次

（社会体育指導員（コーチ1）の資格が必須。このため成年男子の大將は推薦となる。）

\*強化委員会で選定、幹部会に承認を受け、本人も了承済み。

(12) 第17回女子剣道指導法講習会について(中島事務局長)

開催日：令和7年5月24日（土）～25日（日）2日間

会場：静岡県剣道連盟道場「養浩館」

受講資格：各都道府県剣道連盟の登録会員で剣道五段以上の女子とする

申込締切日：令和7年4月25日（金）

(13) 剣道四・五段審査会について（同）

開催日：令和7年5月25日（日）

四段受付：8：50～9：30（予定）

五段受付：11：20～12：00（予定）

会場：神奈川県立武道館

申込締切日：令和7年4月25日（金）

(14) 剣道指導者育成東西研修会(東日本)派遣について（同）

開催日：令和7年5月31日（土）～6月1日（日）

会場：小瀬スポーツ公園 武道館（山梨県甲府市）

\*派遣者検討中

(15) 第62回中堅剣士講習会派遣について（同）

開催日：令和7年6月6日（金）～8日（日）

会場：ロート奈良武道館（奈良市）

派遣者：茅ヶ崎市支部 木村 義

（派遣者資格は、教士七段取得者）

(16) R7 剣道審判法東西研修会（東日本）（同）

開催日：令和7年6月14日（土）～6月15日（日）

会場：小瀬スポーツ公園 武道館（山梨県甲府市）

研修生：鈴木雅彦、笹木春光、鈴木順也、和田華子、立迫明美、早津理恵

(17) 第42回剣道八段受審者研修会について 資料6参照(同)

開催日：令和7年6月28日(土)

受付：9時 開会：9時30分 会場：神奈川県立武道館

申込締切日：令和7年5月30日(金)

受審資格の適応審査会日付訂正 令和6年8月 → 令和7年8月。

振込口座について、申請中であり案内には5月初旬にお知らせする予定とあるが、返答が届いていないため、実際には中旬になることがある。

そのため、遅れが発生した場合は、申込が現金封筒での対応となる可能性がある。

(18) 令和6年度会員数、1級登録人数等明細表について 資料7参照(野見山会長)

① 剣道人口の確保

現在の神奈川県の1級は1949名で、全会員の約1割を占めている。このまま昇段して進んでもらうのが、幹部の責任・役割と考える。

② 他武道との比較

柔道は、10年前に比べて会員数が半減しており、世界で最も柔道人口が多いのはフランスで、日本は2番目になっている。他の武道も減少しており、剣道の減少は他の武道に比べると少ないとされている。

コロナ禍で一時的に減少したが、その後は回復傾向になりつつある。

③ 剣道人口の減少パターン

小学校で剣道を始めの子供が増えていますが、中学校に進学すると部活動で他のスポーツを選ぶ傾向があり、剣道道場に通う頻度が減るパターンが見られる。しかし、中学校1年生で剣道を始めの子供がその後増えているため、大きな減少にはつなげていない。

中学から高校への進学時も同様に、試合中心の活動に対して初心者は参加しづらいため、高校進学後にドロップアウトする生徒が出る傾向がある。

④ 中体連の取り組み

神奈川県では、「たまご・ひよこ大会」(中学校1年生で始めた子供を対象にした大会)を開催し、1000名を超える参加者を集めた。この大会は、試合の楽しさとチーム意識を育むことを目指している。

⑤ 中学生の流出問題

神奈川県内で有望な中学生が他県の有名高校に流れる傾向があり、トップ選手が流出している。これを防ぐためには、県内に強い受け皿を作り、トップ選手のイメージを高めることが重要である。

#### ⑥ 高校からのその後

高校で剣道を辞める生徒も多く、大学に進学するときにはさらに減少する。しかし、これらの元剣道部員が30代・40代になり、自分の子供が剣道を始めた際に再び復帰する可能性が高いことが期待されている。

#### ⑦ 全剣連の取り組み

現在、お母さんが剣道を始めることが、子供が剣道が続けるための重要な要素として注目されている。お母さんが剣道に復帰することで、子供も続けやすくなる。全剣連では、専門のグループを作り、今年度からこの問題に取り組み始めようとしている。

#### ⑧ 連携と協力

神奈川県では、道場連盟や中体連・高体連そして県剣道連盟が協力して、全体としての剣道人口を増やすために取り組んでいく必要がある。それぞれの組織間で、時には利害が一致しないこともあるが、全体の剣道人口を増やすために協力し合いながら進めていくべきである。

### (19) 剣道講習会参加状況について 資料8参照(同)

#### 登録会員数と参加率の差

川崎市は登録会員が突出して多いものの、講習会参加率が低く、栄区は登録人数が87名と少人数にも関わらず、参加率が非常に高いという点が注目される。これは、地域の幹部の指導や意識の高さ、または参加者の熱意が反映されているのではないかと見られる。津久井も会員数が67名と少ないにも関わらず、高い参加率を示している、合同稽古への参加も増えているように見える。

#### 合同稽古の重要性

講習会への参加ももちろん大事であるが、神奈川県で一番大きな行事である合同稽古会への参加は、いろいろな意味で昇段審査の結果に良い影響を与えていると思う。

### (20) 行事参加者傷害保険について(中島事務局長)

県内の大会、それから今年に関しては関東7県大会が神奈川で開催されるため、出場する、県外選手も傷害保険にかけて、大会中の怪我に対応していく予定。

### (21) 令和7・8年度指定審査員・審判員について 資料9参照(同)

例年、女性の先生方を下の方に記載があったが、今年度から段位を取得した順番で記載する。(大会プログラムも同様に。)

### (22) 神奈川新聞社後援申請について(同)

小林事務局長を中心に新聞社に後援依頼の準備をしている。現在後援が決まっているのが、5月の「女子大会」。

10月の「母子大会」12月の「神奈川県大会」も後援依頼をする。

(23) 全剣連六・七・八段審査における措置について (同)

今年度の愛知の審査会からから、65歳以上の六段・七段・八段の受審資格が大幅に変更になった。

受審資格の変更から受審できるようになった受審者は、申し込みのときに一報をいれていただきたい。

(24) R7 審判講師養成の指導講師「認定証」交付者について (同)

全国24名中、今里 学・織口剛次・辻山和良・三崎恭裕・前川 勝 先生が認定証を交付された。

(25) 神奈川問題についての経過報告 (伊藤専務理事)

対象者：4名

4月7日付で重富弁護士より内容証明郵便を送付済み。

示談に応じている2名については示談協議文書を作成中文書に双方が合意後、不適切受給分を返還。

示談に応じなかった残り2名について内容証明郵便にて「内容証明到着後2週間以内に請求金額を振り込むこと」・「支払いがなければ訴訟提起を行う」と明記。

質疑

Q 六・七・八段における措置についての手順についてはっきりさせたい。

現状支部から連盟に連名簿を送って申し込みをしているが、措置を受ける人は、連名簿は記載せず別途事前に許可を得る必要があるのか。

A 許可が必要ということではなく、事務局で事前に共通認識をしたいため、事前に連絡をいただきたい。(中島)

Q 連名簿とは別に必要か、それとも連名簿に記載していればよいのか。

A 全剣連の受審資格緩和のため、自身の証書と照らし合わせ、合致をすれば受審いただける。神奈川県ではなく全剣連の特例処置であり、申し込みに関しては、以前のままでよい。県としては、八段受審者に関しては、受審者研修会を受講したものが受審資格を得られるという県のルールがあるため、このルールは守ってほしい。(野見山)

意見

A氏

今日まで野見山先生については、一般社団法人化に向けて寝食を忘れて、立派な法人化をしていただき、非常に感謝している。

一方気になるのが、先ほどご報告いただいた神奈川問題について民事としては、損害賠償でよいと思うが、刑事の問題として、それは司法の判断があるとは思いますが、本当の意味で神奈川県剣道連盟が再生するためには、問題をきっちり解決をしないと社会が許さないと。善は善、悪は悪の姿勢で進めることが社会的に評価されることであり、一般社団

法人になったことは、よいことであるが公益化に向けて令和7年度からの会計がしっかりとしていれば良いというお話であったが、そんな簡単にいかないのではないかと、心配している。この問題が公益化に向けての大きな障害になるのではないか。この問題を民事・刑事できっちり片を付けて世間にそれを示すことが大事であり、しっかりやっていることを世間に理解していただくことが大事だと思う。

それに関連して、この問題を理事会で定期的にご報告いただきたく思う。

(伊藤専務理事) 情報を提供できるところは提供していくが、裁判となると情報提供できない部分もあろうかと思う。重富先生と調整しながらできる範囲情報提供をおこなっていく。

### 【大会結果】(中島事務局長)

レジュメ記載通り

### 【協議事項】

(1) 個人会員年会費に関する規則について(野見山会長)

- ・第3条 前理事会にて、支部への交付を行うことを提示したが、現在個人会員が1名となりいずれ項目を削除する予定のため、変更しないこととした。
  - ・第4条 団体会費はもしものときは、徴収することがあるかもしれないが全剣連の規約にも記載の事項のため、記載をしている。現在徴収していない。
  - ・第5条 既におこなわれている通り。
  - ・第6条 剣道手帳購入等の等は免状代等が含まれる。
- \*特にいままで説明した内容と変わらず、簡略化をおこなった。

### 賛成全員にて承認

(2) 表彰および慶弔に関する規則について(野見山会長)

- ・第3条(1)総論的な書き方をしている。永年にわたり支部の役員を務めたり、子供たちの育成をしていた人達を広く顕彰したいと考えるため総論的にしている。
- ・第3条(2)剣窓等の剣道雑誌にスポーツ医学や理学療法等の文献を掲載などしたときに顕彰をする。
- ・第3条(3)全国規模の大会で優秀な成績を収めた選手・チームの指導者を顕彰する。
- ・【訂正】第9条が抜けているため、10条から1つつ繰り上げる。  
→附随した条も変更。
- ・第9条の30,000円以内の慶祝金は、いくらとは決めずに幹部会で事例ごとに検討し提案をする。
- ・慶事の一環としていままで八段審査会1次審査合格者に対して認定証と3,000円相当のクオカードを贈っていたが、SNS上に掲載されたことで広まってしまい、全剣連行事

に神奈川県として認定証を出すのは、いかがなものかということもあり、廃止予定であり口頭での激励のみとする予定である。

- ・第12条連盟葬について、急遽実施するような際はメールで連絡予定である。

#### 意見・要望

B氏

第3条(1)～(3)について永年にわたりという表現があるが、永年は一般的にいうと10年以上と言われてはいるが、曖昧な表現ではなく何年であるか明記したほうが良いのではないか。優秀な成績というのも例えば上位入賞や優勝等と明記したほうが、幹部会で選択するときに明確ではないかと思う。剣道界には先生・子供の関りが必ずでてくると思う為そこに付度がある可能性もあるため検討をお願いしたい。

(野見山会長)

内規というものは、あまり作りたくはない。

ファジーに(永年と)しておくことでいろんなものを吸収ができる。

優秀な成績としているのは全国規模の大会でも大会の性質の違いがあるため、このままとしたいと考える。ある程度幹部会の常識に任せていただく条文と考えている。

C氏

先程、正式名称が会長ではないという説明があり、この文章中に会長という言葉がいくつもあるが、そのまま決をとるのか。

(野見山会長)

法律上の正式名称ではないが、習慣上の慣用句としていかしていきたいと思う。

#### 賛成全員にて承認

(3) 世界大会応援クラブの団体会員加入について(野見山)

- ・5口15万円で加入をしたいと考える。(自動継続)

#### 質疑

Q

- ・年15万円は、会計上負担にならないのか。
- ・入会特典は、どのように配布・分配する予定か。

(野見山会長)

特典について団体会員に対しては、全剣連に問い合わせたところ未定であり、電子版の剣窓と冊子3部のみ決まっている。

世界大会が開催できる国が限られ日本での開催が増える見込みで負担が増えてくる。日本武道館で試合をしたいという海外選手も多く、できるだけ協力していきたいと考え、現

状、また継続的に当面15万円ならば負担にならないと考える。

#### 全員賛成にて承認

(4)道場連盟への交付金増額について(野見山会長)・・・当日追加事項  
交付金40万円/年を50万円/年に増額をしたい。

(道場連盟の大会等で子供たちのモチベーションアップ、育成の草の根を担っている。)

#### 全員賛成にて承認

#### 4. その他

(1) ゴールデンウィーク中の事務局の休みについて

4月26日(土)～5月6日(水)(電話およびメールの対応不可)

(2) 新年会について

令和8年1月15日(木) 場所は未定

※次回は、代議員会 6月12日(木)午後6時30分～ かながわ県民センター 議事録  
署名人は 瀬谷区支部、相模原市支部

#### 5. 閉 会

以上

議事録署名人 旭区支部 廣瀬 貴之 承認

議事録署名人 小田原支部 繁田 雄治 承認